

雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉



黄泉

小林貴子

黄泉の口なら六月にあると言ふ
鷗外忌独逸ビールの夜も更けぬ
鴉の子巢立ち三日月さびしがる
黒レース深く沖繩慰霊の日
日時計に病葉ひとつ牧師館
黙想を蓮の巻葉のひらくまで
諏訪竜の腹這ふ如き梅雨曇
竜神が盛り上がりをり雷神と
恋はなぜやぶれ蚊はなぜ耳元に
伝馬町小伝馬町や祭笛